

## R5産にんにく 液肥試験結果

### 試験内容

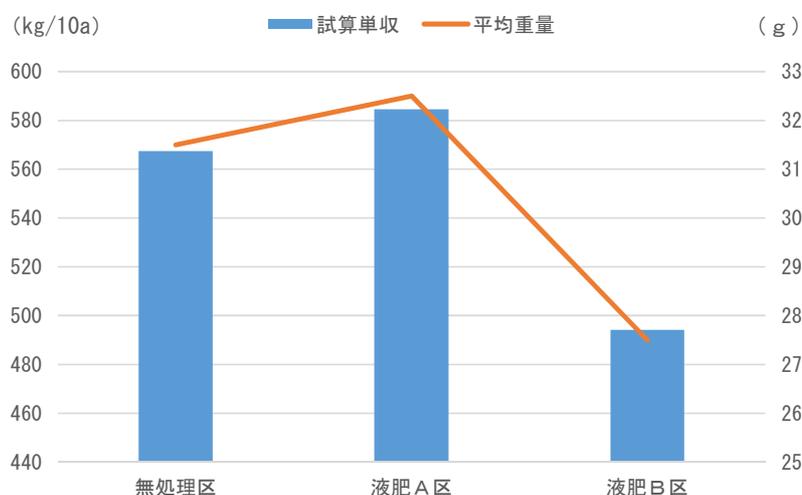
J A採種圃にて、液肥散布の効果を調査することを目的に、2種類の液肥区と無処理区を各2反復設置し、約1週間おきに500倍で3回散布した。液肥は単剤で散布し、展着剤は使用していない。なお、液肥Aは3要素+微量元素を含み、液肥Bは酵素系の液肥である。

液肥散布日：6月6日、15日、22日※同日または翌日に通常の防除を実施している。

### 試験結果と考察

	無処理区	液肥A区	液肥B区
品代（単価600円/kg）	340,470	350,730	296,460
液肥費用（円）	0	492	1,698

※液肥費用は500倍で3回散布した場合の金額で試算



◇ 液肥散布日に草丈、葉数、葉鞘径の3項目について生育調査を実施した。液肥散布による生育差は見られず、また、町平均と比べても差は見られなかった。

◇ 6月中旬頃に圃場全体にさび病が発生し、収穫まで病害は拡大していた。

◇ 採種圃場の為、ウイルス感染と思われる異常株は圃場管理者によって事前に抜き取りされていた。

◇ 本試験では、無処理区と液肥A区およびB区では有意差がなく、液肥Aと液肥Bには有意差があった。

◇ にんにくはぬれの悪い作物であるため、液肥の付着・吸収が効果的に行われず、液肥による効果が出にくいと考えられる。

写真 液肥試験（左から対照区、液肥A区、液肥B区 撮影：6月22日）

